

テロ等事案

テロ対策の取組

参 考

2001年9月11日

米国

航空機2機が世界貿易センタービルに突入。同時期に国防総省にも航空機が突入

2002年10月6日

イエメン沖

タンカー爆発炎上し、乗員17名が負傷、大量の原油が流出

2002年10月12日

バリ島

ディスコで起きた爆破テロにより、202名が死亡

2004年2月6日

モスクワ

地下鉄における爆発テロで30名が死亡

2004年2月27日

マニラ湾付近

フェリーが炎上し、乗客63名が死亡

2004年3月11日

マドリッド

駅構内、電車内の爆破テロにより、182名が死亡

2004年8月24日

ロシア

航空機2機が墜落し、乗員乗客合計94名が死亡

2005年7月7日

ロンドン

地下鉄、バスの爆破テロにより、死者54人(7年15日時点)

2005年10月1日

バリ島

連続爆弾テロ事件により、邦人を含む多数が死亡

2001年10月 APEC閣僚会議(中国)

○「テロ対策に関する首脳声明」を発出

- ・米国同時多発テロを非難するとともに、各分野におけるテロ対策に関する協力を強化することを表明

2002年6月 カナダスミスミット(カナダ)

○「交通保安に関するG8協調行動」を発出

- ・2001年9月の米国同時多発テロを踏まえて講じられてきた交通保安に係るICAO、IMO等における取組みを支持

2002年10月 APEC首脳会議(メキシコ)

○「テロリズムとの闘い及び成長の促進に関する首脳声明」を発出

- ・コンテナ安全体制の実施、船舶自動判別システムの導入、航空機コックピットドアの強化等の措置の促進を確認

2003年6月 エビアンサミット(フランス)

○「テロと闘うための国際的な政治的意思及び能力の向上に関するG8行動計画」を発出

- ・各分野におけるテロ対策の必要性について強調
- ・G8各国の外務省を中心にCTAG(テロ対策行動グループ)設置
- ・ICAO、IMO、WCO等との連携

2003年10月 APEC首脳会議(タイ)

○共同声明を発出

- ・各分野のテロ対策の強化に向けた決意を表明
- ・事前旅客システムの実施等を支持

2004年6月 シーアイランドサミット(米国)

○「安全かつ容易な海外渡航イニシアティブ(SAFTI)」を発出

(航空保安関連)

- ・MANPADS(携帯式地对空ミサイル)の脅威に対する空港の脆弱性の評価方法の策定
- ・スカイマーシャルに関するベストプラクティス作成
- ・空港における重層的な保安検査
- ・コックピットドアの強化

(港湾保安関連)

- ・ISPSコードの実施に係る自己監査手法の策定

2005年7月 グレンイーグルズサミット(英国)

○「G8テロ対策声明」を発出

- ・鉄道及び地下鉄の安全確保のためのベスト・プラクティスの促進等の新しい共同の取組み
- ・航空保安及び港湾保安に係る協力を強化
- ・キャパシティ・ビルディングへの支援